

(倫理様式 2-2-1)

回復期リハビリテーション病棟における自宅退院規定因子 ～2013年解析結果との違いを解釈～

1. 研究の対象

2020年4月以降に当院回復期リハビリテーション病棟に入院し、2022年3月までに退院した脳卒中患者のうち、退院後に介助を要す症例

2. 研究目的・方法

回復期リハビリテーション病棟では、患者の効率的なADL（日常生活動作）能力の改善と自宅退院が求められています。当院では2013年に回復期リハビリテーション病棟における自宅退院に関する要因についての先行研究を行いました。しかし、先行研究から10年以上が経過し、社会背景および患者や家族を取り巻く環境も変化していると思われます。

当院リハビリテーション部では、ADLがどれだけ自立しているかを数値化する評価法であるFunctional Independence Measure（FIM）を用いてADLを評価しています。今回、改めて回復期リハビリテーション病棟における自宅退院に関する要因について調査し、2013年の先行研究との違いを明らかにします。これらの調査で明らかにすることにより、患者の自宅退院の一助となることを目指していきます。

美原記念病院リハビリテーション部では、入院時と退院時に加え、週に1回リハビリテーション担当者が身体機能評価や生活状況の評価を行っています。今回の調査には、このデータに加え、退院時ADL能力、家族介護者数、同居しており日中の全て介護が可能な介護者数、同居しており日中の一部介護が可能な介護者数、同居しており夜間の全て介護が可能な介護者数、同居しており夜間の一部介護が可能な介護者数、別居しており日中の全て介護が可能な介護者数、別居しており日中の一部介護が可能な介護者数、別居しており夜間の全て介護が可能な介護者数、別居しており夜間の一部介護が可能な介護者数を用います。

これらの研究は2023年12月～2025年3月の間に実施します。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：年齢、性別、疾患、身体機能の情報、生活状況の情報、介護者数 等

※個人情報等の取り扱いとして、個人が特定される情報は用いません。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

(倫理様式 2-2-1)

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

公益財団法人脳血管研究所 美原記念病院 リハビリテーション部

研究責任者 林杏華

住 所：群馬県伊勢崎市太田町 366

T E L : 0270-27-8813 F A X : 0270-24-3359